

累計30万部突破！感涙の恋愛小説、2023年9月1日（金）全国ロードショー決定！

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

W主演キャスト 白岩瑠姫(JO1) × 久間田琳加 実写映画化！

スタート出版株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菊地修一）発行の小説作品『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』について、白岩瑠姫(JO1) × 久間田琳加をW主演に迎え、酒井麻衣監督による実写映画化が決定いたしました。原作は、小説サイト「野いちご」で連載され、第1回野いちご大賞を受賞した、汐見夏衛著の「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」（スタート出版刊）。累計発行部数 30 万部を超えた、珠玉のラブストーリーで、2023年9月1日（金）全国ロードショー公開となります。 ■公式サイト：<https://yorukimi.asmik-ace.co.jp/>



『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

スタート出版刊 汐見 夏衛（しおみなつえ）著／ナナカワ カバーイラスト
文庫 ISBN：978-4-8137-0910-7 本体価格：700円

無彩色で息苦しいこの世界。救い出してくれたのは、“私を嫌い”な君でした——。

マスクが手放せず、周囲の空気ばかり読んでしまう「優等生」の茜。自由奔放で絵を描くことを愛する、銀髪のクラスメイト・青磁。何もかもが自分とは正反対の青磁のことが苦手な茜だったが、彼が描く絵と、まっすぐな性格に惹かれ、茜の世界はカラフルに色づきはじめる。次第に距離を縮めていくふたりだったが、彼らは互いに誰にも打ち明けられない秘密を抱えていた——。

圧倒的共感を呼ぶ、純度100%の色鮮やかなラブストーリー。

【汐見 夏衛 原作者コメント】 この度『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』の映画化が決定いたしました。酒井麻衣監督の彩り豊かでありながら透き通る清澄感に満ちた世界観、白岩瑠姫さんの全身から放たれる圧倒的な存在感と吸い込まれそうな瞳。久間田琳加さんの内側から発光するような透明感と弾けるような笑顔を拝見して、僭越ながら『素晴らしい作品になるに違いない！』と確信しました。このような機会を頂けたのは他でもなく、これまで本作を応援して下さいました皆様のおかげです。本当にありがとうございます！一緒に公開を心待ちにして頂けましたら幸いです。

■出演者・監督プロフィール&コメント



●主演：白岩瑠姫【しろいわ・るき】（深川青磁【ふかがわ・せいじ】役）

1997年11月19日生まれ、東京都出身。

これまでに発売した6作のシングル全てがオリコン週間シングルランキングで1位を獲得し、昨年末の「NHK紅白歌合戦」への初出場を果たした大活躍中のグローバルボーイズグループ・JO1のメンバー。個人としては、「JO1のオールナイトニッポンX(クロス)」のメインパーソナリティーを務めている。22年にJO1主演ドラマ「ショート・プログラム」（Amazon Prime Video）に出演。本作が映画初出演・映画初主演となる。

◆コメント

最初にオファーを頂いた時は、初めての映画の主演ということで、嬉しい気持ちと同時に不安もあって「感情」が忙しかったです。今回、絵が得意な青磁というキャラクターを演じる上で、実際に絵を描くシーンにも挑戦したのですが、現場の雰囲気がとても良く、酒井監督やスタッフの皆さんにも優しくフォローして頂いたおかげで、楽しく撮影に臨めました。現場に入っただけの頃は、実は少し人見知りをしてしまったのですが、酒井監督から、主演を務める座長として、周りの皆とコミュニケーションを取って欲しいとのアドバイスを頂きました。そこから茜役の久間田さんや共演者の皆さん、スタッフの皆さんに積極的に話しかけるようにして、良い関係を築くことができたと思います。酒井監督には演技面ではもちろん、それ以外の部分でも支えて頂き、とても感謝しています。皆で一緒に作り上げた作品ですので、『夜きみ』を沢山の方に愛して欲しいなと思います。



●主演：久間田琳加【くまだ・りんか】（丹羽茜【にわ・あかね】役）

2001年2月23日生まれ、東京都出身。

これまでの主演作に、『ヌ子子の聖★戦～HARAJUKU STORY』（18/進藤丈広監督）、「マリーミー！」（20/ABC）、「青春シンデレラ」（22/ABC）、「ブラザー・トラップ」（23/TBS）など。雑誌「non-no」の専属モデルも務め、同世代女子からの圧倒的な人気を誇る。主な待機作に、「ながたんと青と-いちかの料理帖-」（23/WOWOW）、「君に届け」（23/Netflix）、主演作『おとななじみ』（23年5月12日公開／高橋洋人監督）などがある。

◆コメント

私が演じる茜はマスクが手放せない女の子です。原作小説が書かれたのはコロナ禍の前ですが、マスク習慣が広まった今では、さらに色々な見方ができる作品だと思います。今回共演した青磁役の白岩さんは、初めてお会いした時はクールな印象だったのですが、撮影に入るとお喋り好きなことが分かって、役作りでもとても助けられました。酒井監督の作品はこれまでも拝見していましたが、どの作品も画がとても綺麗で、いつかお会いしてみたいと思っていました。今回演じた茜役はマスクをするシーンが多く、目線の演技が大切になるため、難しい役柄でもあったのですが、酒井監督にはたくさんアドバイスをいただき、助けて頂きました。この作品には、どの世代の方が観てもときめく要素が散りばめられています。私も演じていて心地いいと思う瞬間が何度もあったので、スクリーンを通して伝わったら嬉しいです。



●監督：酒井麻衣

1991年生まれ。映画祭でグランプリを受賞し、2017年『はらはらなのか。』で商業デビュー。「映像作家100人2020」に選出される。代表作に、ドラマ「恋のツキ」(18/TX)、「びぶる-AIと結婚生活始めました-」(20/WOWOW)、「荒ぶる季節の乙女どもよ。」(20/MBS)、「明日、私は誰かのカノジョ」(22/MBS)、MVなにわ男子『初心 LOVE (うぶらぶ)』、優里『レオ』、Nissy『I Need You』など、多岐にわたって活躍する。公開待機作に、『劇場版 美しい彼～eternal～』(23年4月7日公開)がある。

◆コメント

「マスクの着用が個人の判断に委ねられる」時期がやってきました。自分にとってマスクは、いつしかお守りのようにになっている部分があったので、戸惑っているというのが、本心です。そんな時に出会ったのが、コロナ前に書かれたこの物語でした。優等生であり学校ではマスクを手放せない茜と、自由奔放で画家を目指している青磁のお話。

この2人は、自分の気持ちを代弁してくれたような、晴れやかな気持ちにさせてくれました。ガラスのように割れやすくも、綺麗な青春の煌めき、将来への期待と恐怖、初めて知る恋心、全てが綺麗で、心が洗われました。

白岩さんの持つ儂い強さと、久間田さんの持つ優しい眼差しが、役を通し交わり、エモーショナルな瞬間を捉えられ、とても幸せでした。

スタッフ一同、真摯に純度の高い青春と向き合いました。皆様にお届けする日が待ち遠しいです。

【映画クレジット】

出演：白岩瑠姫 (JO1) 久間田琳加

監督：酒井麻衣

脚本：イ・ナウォン 酒井麻衣

原作：汐見夏衛「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」(スタートズ出版 刊)

製作：『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』製作委員会

制作プロダクション：C&I エンタテインメント、アスミック・エース

製作幹事・配給・宣伝：アスミック・エース

コピーライト：© 2023「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」製作委員会

映画HP：<https://yorukimi.asmik-ace.co.jp/>

Instagram：https://www.instagram.com/yorukimi_movie/

Twitter：https://twitter.com/yorukimi_movie

■問合せ先 スターツ出版株式会社 広報担当 佐々木 TEL:03-6202-0311 contact-stp@starts-pub.jp